

令和 4年 8月 19日

栗東市長 野村昌弘 様

主たる事務所の所在地 栗東市糺2丁目7-17

団体名 シニア子育てサロンぽっけ

代表者氏名 松江 由多加

未来へつなぐ市民活動応援事業団体登録申請書

支援希望団体として登録を受けたいので、栗東市未来へつなぐ市民活動応援事業補助金交付要綱第3条第1項の規定により、関係書類を添えて申請します。

| | | | |
|-------------|--|---------------------|-----|
| 団体名 (ふりがな) | シニア子育てサロンぽっけ (しにあこそだてさろんぽっけ) | | |
| 主たる事務所 | 所在地 〒520-3031 栗東市糺2丁目7-17 | | |
| 担当者連絡先 | 氏名 (ふりがな) 松江 由多加 (まつえ ゆたか) | | |
| | 電話番号: | FAX 番号: | |
| | E-Mail: | 連絡希望手段・時間帯: 特になし | |
| ホームページ | https://sites.google.com/view/rittoupokke | | |
| 団体設立年月日 | 令和元年7月28日 | 会員数 | 11名 |
| 活動目的 | 子育て世代が笑顔で育児を楽しめるように、地域のシニアが子育てをサポートすることを目的とする。一方シニアにとっては生きがいを持って活躍出来る居場所となり、3世代が交流し支え合うことにより『子育てのしやすい栗東市』構築を目指します。 | | |
| 事業概要 | いろいろな用事で困った時やリフレッシュしたい時に、子どもの面倒をみてくれる人がいない若い保護者をサポートするため、毎週水曜(午前)と金曜(午前・午後)に子どもの一時預かり保育を実施しています。また、親子で遊んだり、シニアとの交流や親同士の交流する場を提供し、育児の悩みや楽しさを共有できるよう親子サロンを実施しています。 | | |
| 登録要件 | <input checked="" type="checkbox"/> 支援希望団体の登録要件 (栗東市未来へつなぐ市民活動応援事業補助金交付要綱第6条) をすべて満たしている | | |
| 目標寄附額 (初年度) | 300,000円 (初年度総事業費 363,800円) | | |

団体登録事業計画書

| | |
|---|--|
| <p>活動場所</p> | <p>栗東市綾2丁目7-17 シニア子育てサロンぽっけ</p> |
| <p>解決したい地域の現状や課題</p> | <p>1. 栗東市は他府県から転入してきた若い世代が多く、核家族化で近くに育児の相談や、子どもの面倒を見てくれる人がいない若い保護者が多い。また昔に比べ近所付き合いなど地域のつながりが希薄で、特に最近のコロナ禍においてはどうしても孤立しがちです。またファミリー・サポート・センターのような育児支援ネットワークも無く、短時間でも子どもを預けられる施設が少ない環境であります。</p> <p>2. 一方、私たちシニアを取り巻く環境を見てみると、栗東市の高齢化率は他の市町村に比べ低いものの、今後の高齢化を考えると、特に健康寿命の延伸が大きな課題です。その為にも、元気なシニアが生きがいを持って活躍できる居場所づくりが求められています。</p> |
| <p>今後の事業予定</p> <p>（市ホームページに掲載する文章として記入ください《600文字以内》）</p> <p>※複数の事業を行う場合は、優先順位の高い順に記載してください。</p> | <p>1. 一時預かり保育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎週水曜午前9時～正午迄、及び毎週金曜午前9時～午後4時迄、生後6ヶ月～3歳児を対象に500円/時間でお預かりします。 <p>2. 親子サロン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎週水曜午前9時～正午迄、及び毎週金曜午前9時～午後4時迄、親子で遊べる場を無料提供し、スタッフとおしゃべりしたり、ママ同士で交流したり、ほっとする時間を過ごして頂きます。 <p>3. ママサークル（Fun Fan Harmony）とのコラボ事業</p> <p>①「このゆびとまれ」の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年18回(月曜)、ぽっけの部屋を市民に開放し、色々な人と交流できる居場所にします。 <p>②「運動しようの会」への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年18回(木曜)、体育館で若い保護者と一緒に軽い運動をします。 |

| | |
|----------------|--|
| | <p>③ママサークル単独イベント時の託児協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ママがイベント参加中、ぽっけが幼児をお預かりします。 <p>4. 「栗東市の子育て支援を考える会」への参画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栗東市の子育て支援をより充実させる為に、行政(社会福祉課、地域子育て支援センター、健康増進課)と、民間団体(くまのみひろば、C o C o 愛、Fun Fan Harmony、ぽっけ)とで毎月1回協議を重ねています。子育てママの為に少しでもお役に立てるサービスやサポート体制を構築したいと考えています。 <p>5. オレンジリボン運動(児童虐待防止)への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年10月「びわ湖一周オレンジリボンたすきリレー」に参加し、児童虐待防止を呼び掛けます。 |
| <p>期待される効果</p> | <p>1. 一時預かりや親子サロンを実施することで、保護者の育児負担が軽減され、少しでも自分の時間を持って貰うことにより精神的な余裕が生まれリフレッシュできます。また子育てが楽しくなれば、その後の育児にも前向きに取り組む効果が期待できます。</p> <p>2. 子どもの方も、保護者以外の人と触れ合い自宅以外の場所で過ごすことによる刺激から、積極性が出たり言葉が発達したりと保護者が驚くほど成長する事例もあります。</p> <p>3. シニアも、子どもから元気を保護者の方から感謝と励ましを頂くことで生きがいとなり、ひいては健康寿命の延伸にもつながります。</p> <p>4. またママサークルとのコラボ事業を通じて、子ども、親、シニアの3世代がつながり支え合うことで「元気都市栗東」に、また行政や子育て支援団体と密接に連携し知恵を出し合えば「子育てのしやすい都市栗東」の実現に一步近づけると確信します。</p> |

| | |
|---------------------------------|--|
| <p>事業実施体制</p> | <p>【会 長】 松江 由多加 (代表)</p> <p>【副会長】 駒村 眞知子</p> <p>【会 計】 加賀爪 里美</p> <p>【監 査】 内野 小夜子</p> <p>【アドバイザー】 宮川 俊夫、井之口 秀行</p> <p>【協力団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ママサークル Fun Fan Harmony (代表 谷口 律香) ・(一社) 滋賀県健康生きがいつくり協議会 (理事長 宮川 俊夫) |
| <p>事業の PR 方法 (寄附の獲得)</p> | <ol style="list-style-type: none"> 1. ぽっけの事業を理解し賛同して頂ける支援者を募り寄附を依頼する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ぽっけファンを増やす。 ・100歳大学、レイカディア大学の同窓会組織に呼び掛ける。 ・前職のOB会や友人、知人 2. 寄附募集チラシを作成し配付する。 3. SNS (Facebook、Instagram 等) を活用し発信する。 |
| <p>自立的・継続的に活動していくための工夫</p> | <p>「100歳大学2期生」有志が立ち上げた為、会員の結束力は相当強い。しかし毎年高齢化が進み、十年先・二十年先といった将来の組織展望が見通し辛いのが大きな課題です。そこで、下記施策を実施します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 引き続き、スタッフを募集し人員増強を図ります。 <ul style="list-style-type: none"> ・100歳大学、レイカディア大学卒業生への呼び掛け。 ・タウン誌への広告掲載、口コミ、SNSでの発信。 2. サポーター制度の導入 (月1回でも、1時間でも可。年齢不問) <ul style="list-style-type: none"> ・今年(令和4年)ママサークルより5人が登録し活躍中。 ・現在、100歳大学5期生(2名)がトライ中。 |
| <p>申請事業に対する助成金や委託料等財源確保の取組み</p> | <ol style="list-style-type: none"> 1. 栗東市「元気創造まちづくり事業」として3年間助成していただき、団体としての財政基盤は徐々に整いつつあります。今回の本事業で真の自立した団体にすべく、全員で力を合わせて取り組みます。 2. 「未来ファンドおうみ助成事業」等、他の助成事業も検討します。 3. 自立に向け、会員が制作した「手作り手芸品」をバザーで販売する等の方策も検討していきたい。 |

別記様式第3号（要綱第7条関係）

収支計画書（令和5年4月～令和6年3月）

【収入】

| 科目 | 内 訳 | 金 額 |
|------------------|------------------------|--------------------|
| 補助金 | 未来へつなぐ市民活動応援事業補助金 | 補助目標額 200,000 円 |
| 自己資金 （会費等） | 会費 1,000 円×9 名 | 9,000 円 |
| 事業収入 （受益者負担金） | 預かり料（300 時間×500 円） | 150,000 円 |
| その他 | ECC 部屋賃貸料（16 時間×300 円） | 4,800 円 |
| 収入合計 | | 363,800 円 |

【支出】

| 科目 | 内容・積算根拠 | 経 費 | |
|----------|---|---------|-----------|
| | | 対象外経費 | 対象経費 |
| 報償費 | 講師謝礼 年2回（各5,000円） | 円 | 10,000 円 |
| 消耗品費 | 玩具：20,000 円。玩具の電池 6,000 円 事務用品（コピー用紙・事務用品）：23,200 円 掃除道具（ペーパータオル・ほうき・掃除機ごみパック・ゴム手袋等）：10,000 円 子ども靴整理棚：6,000 円、用具消毒液・手口消毒液：20,000 円 | 円 | 85,200 円 |
| 印刷製本費 | チラシ制作・印刷費：30,000 円、コピー代 6,000 円 | 円 | 36,000 円 |
| 通信運搬費 | 電話代（3,500 円×12 ヶ月） | 円 | 42,000 円 |
| 保険料 | ボランティア保険（560 円/1 日） 去年実績から 8.5 日×560 円 | 円 | 47,600 円 |
| 使用料及び賃借料 | 貸しスペース利用料 10,000 円/月 | 円 | 120,000 円 |
| 材料費 | 季節・イベント時の制作材料 20,000 円 | 円 | 20,000 円 |
| その他 | 大宝学区地域振興協議会への協賛金 | 3,000 円 | 円 |
| 支出合計 | | 3,000 円 | 360,800 円 |

※年度毎にわけて記入してください。

別記様式第3号 (要綱第7条関係)

収支計画書 (令和6年4月 ~ 令和7年3月)

【収 入】

| 科 目 | 内 訳 | 金 額 |
|------------------|-------------------------|--------------------|
| 補助金 | 未来へつなぐ市民活動応援事業補助金 | 補助目標額 200,000 円 |
| 自己資金 (会費等) | 会費 1,000 円×9名 | 9,000 円 |
| 事業収入 (受益者負担金) | 預かり料 (300 時間×500 円) | 150,000 円 |
| その他 | ECC 部屋賃貸料 (16 時間×300 円) | 4,800 円 |
| 収 入 合 計 | | 363,800 円 |

【支 出】

| 科 目 | 内 容 ・ 積算根拠 | 経 費 | |
|----------|---|---------|-----------|
| | | 対象外経費 | 対象経費 |
| 報償費 | 講師謝礼 年2回 (各 5,000 円) | 円 | 10,000 円 |
| 消耗品費 | 玩具：20,000 円、玩具の電池 6,000 円 事務用品 (コピー用紙・事務用品)：23,200 円 掃除道具 (ペーパータオル・ほうき・掃除機ごみパック・ゴム手袋等)：10,000 円 子ども靴整理棚：6,000 円、用具消毒液・手口消毒液：20,000 円 | 円 | 85,200 円 |
| 印刷製本費 | チラシ制作・印刷費：30,000 円、コピー代 6,000 円 | 円 | 36,000 円 |
| 通信運搬費 | 電話代 (3,500 円×12 ヶ月) | 円 | 42,000 円 |
| 保険料 | ボランティア保険 (560 円/1 日) 去年実績から 85 日×560 円 | 円 | 47,600 円 |
| 使用料及び借借料 | 貸しスペース利用料 10,000 円/月 | 円 | 120,000 円 |
| 材料費 | 季節・イベント時の制作材料 20,000 円 | 円 | 20,000 円 |
| その他 | 大宝学区地域振興協議会への協賛金 | 3,000 円 | 円 |
| 支 出 合 計 | | 3,000 円 | 360,800 円 |

※年度毎にわけて記入してください。

別記様式第3号（要綱第7条関係）

収支計画書（令和7年4月～令和8年3月）

【収入】

| 科目 | 内 訳 | 金 額 |
|------------------|-------------------------|--------------------|
| 補助金 | 未来へつなぐ市民活動応援事業補助金 | 補助目標額 200,000 円 |
| 自己資金 (会費等) | 会費 1,000 円×9名 | 9,000 円 |
| 事業収入 (受益者負担金) | 預かり料 (300 時間×500 円) | 150,000 円 |
| その他 | ECC 部屋賃貸料 (16 時間×300 円) | 4,800 円 |
| 収入合計 | | 363,800 円 |

【支出】

| 科目 | 内容・積算根拠 | 経 費 | |
|---------|---|---------|-----------|
| | | 対象外経費 | 対象経費 |
| 報償費 | 講師謝礼 年2回 (各 5,000 円) | 円 | 10,000 円 |
| 消耗品費 | 玩具：15,000 円、玩具の電池 6,000 円 事務用品 (コピー用紙・事務用品)：23,200 円 掃除道具 (ペーパータオル・ほうき・掃除機ごみバ ック・ゴム手袋等)：10,000 円 子ども靴整理棚：6,000 円、用具消毒液・手口消毒 液：20,000 円、ぼっけ旗：20,000 円 | 円 | 100,200 円 |
| 印刷製本費 | チラシ制作・印刷費：15,000 円、コピー代 6,000 円 | 円 | 21,000 円 |
| 通信運搬費 | 電話代 (3,500 円×12 ヶ月) | 円 | 42,000 円 |
| 保険料 | ボランティア保険 (560 円/1 日) 去年実績から 85 日×560 円 | 円 | 47,600 円 |
| 使用料及び借料 | 貸しスペース利用料 10,000 円/月 | 円 | 120,000 円 |
| 材料費 | 季節・イベント時の制作材料 20,000 円 | 円 | 20,000 円 |
| その他 | 大宝学区地域振興協議会への協賛金 | 3,000 円 | 円 |
| 支出合計 | | 3,000 円 | 360,800 円 |

※年度毎にわけて記入してください。

シニア子育てサロンぼっけ会則

(名称)

第1条 本会の名称は、シニア子育てサロンぼっけと称する。
以下ぼっけと称する。

(事務所)

第2条 ぼっけの事務所は、栗東市糺2丁目7の17に置く。

(組織)

第3条 ぼっけに登録された会員で組織する。

(目的)

第4条 子育て世代が笑顔で育児を楽しめるように、地域のシニアが子育てをサポートすることを目的とする。(一 地域社会がともに子育てをする一)
又、会員相互の親睦と技能習得に努め、シニア世代が生きがいを持って活躍できる居場所づくりを目指します。

(事業)

第5条 ぼっけは、前条の目的を達成するために次の事業を実施する。
1. 保護者の方が通院や家事等いろいろな用事で困った時、又リフレッシュしたい時に、子どもの「一時預かり保育」を実施する。
2. 親子で遊んだり、シニアとの交流や親同士の交流を通して、育児の悩みや楽しさを共有できるよう「親子サロン」を実施する。

(会議)

第6条 ぼっけは、次の会議を開催する。
1. 総会は、毎年5月に行う。
2. 役員会は、会長が必要と認めたときに召集する。
3. 定例会は、月1回行う。
4. 議決事項は、総会、定例会にて参加者の過半数の賛同を得て決定する。

(役員)

第7条 ぼっけに次の役員を置く。
1. 会長 1名 会長は、ぼっけを代表し会務を統括する。
又、全ての会議を招集する。
2. 副会長 1名 会長を補佐し、会長に事故ある時は職務を代行する。
3. 会計 1名
4. 監査 1名 会計・事業全般を監査する。
5. アドバイザー 2名

(役員を選出)

第8条 役員を選出は立候補を旨とする。但し、立候補者が無い場合は合議の上、

総会にて選出する。

(役員任期)

第9条 ぼっけの役員任期は2年とする。但し、再任を妨げないものとする。

(会計)

第10条 1. ぼっけの会計年度は4月1日より翌年3月末日までとする。
2. この会の会計は、次に挙げるものをもって賄う。
①会費 ④助成金
②事業に伴う収入 ⑤その他の収入
③寄付金

(会費)

第11条 会費は年会費1,000円とし、年度当初に納入する。
退会者・休会者への返金は、いかなる場合でも行わない。
年度途中入会であっても、年会費1,000円を納入すること。

(会則)

第12条 会則の改定は、役員会で審議し総会の過半数で可決承認する。

(その他)

第13条 退会・休会は会長に書面にて届けることとする。

附則 この会則は令和元年7月より施行する。

改定履歴：初版 令和元年7月28日 設立
第2版 令和3年8月7日 全面改定



令和4年3月31日

栗東市市民社会貢献活動促進基金補助金運営委員会
委員長 西川 実佐子 様

団体名 シニア子育てサロンぽっけ

代表者氏名 松江 由多加

栗東市市民社会貢献活動促進基金補助金

実績報告書

令和2年11月30日付けで採択通知があった標記の補助金について、その実績を関係書類を添えて報告します。

| | |
|-----------------------------|------------------|
| 交付済金額 (A) 【1】 | <u>200,000 円</u> |
| 実績額 (支出総額) (B) + (C) | <u>280,541 円</u> |
| 助成対象経費総額 (D) | <u>277,541 円</u> |
| 助成基本額 (D) × 3/4 【2】 | <u>208,155 円</u> |
| 助成額 【1】と【2】のいずれか低いほうの金額 【3】 | <u>200,000 円</u> |
| 返還額 【1】 - 【3】 | <u>0 円</u> |

記

関係書類

- 1 収支決算書
- 2 事業概要
- 3 事業成果

R3 栗東市元気創造まちづくり事業実績報告書

栗東市市民社会貢献活動促進基金補助金

(収入)

収 支 決 算 書

(単位：円)

| 科 目 | 当初計画額 | 実際実施済額 | 備 考 |
|--------------------|---------|-------------|-----------------------------|
| 栗東市市民社会貢献活動促進基金補助金 | 200,000 | (A) 200,000 | 市民社会貢献活動促進基金補助金 |
| 団体自己資金 | 10,000 | 13,000 | |
| 会 費 | 10,000 | 11,000 | スタッフ年会費11名×1,000円 |
| 寄 付 金 | 0 | 2,000 | 会員よりボランティアポイント寄付(2名×1,000円) |
| 事業収入 | 60,000 | 283,500 | 預り料(567時間×500円) |
| 利 息 | 0 | 1 | 滋賀銀行利息 |
| そ の 他 | 3,000 | 4,800 | ECC部屋賃借料(16時間×300円) |
| 合 計 | 273,000 | 501,301 | |

(支出)

| 科 目 | 当初計画額 | 実際実施済額 | | 備 考 | |
|------------------|------------|--------------|-------------|-----------------------------------|---------------------------|
| | | 補助金 充当外経費 | 補助金 充当経費 | | |
| 対 象 経 費 | 報酬費 | 4,000 | 0 | | |
| | 消耗品費 | 59,120 | 72,227 | ラミネーター・電池・カテージン・バルーン 事務用品・消毒液等 | |
| | 印刷製本費(印刷代) | 27,000 | 14,300 | チラシ作成 | |
| | 通信運搬費(通信費) | 24,000 | 23,084 | 携帯電話代 | |
| | 手数料(振込代) | 1,000 | 330 | 1月からボランティアの手数料 | |
| | 保険料 | 26,880 | 47,600 | 0 | ボランティア保険料 |
| | 使用料及び賃借料 | 131,000 | 29,941 | 90,059 | 貸しスペース利用料 10,000円×12ヶ月 |
| 対 象 外 | 諸会費 | 0 | 3,000 | 大宝学区地域振興協議会への協賛金 | |
| 合 計 | 273,000 | (B) 80,541 | (C) 200,000 | | |

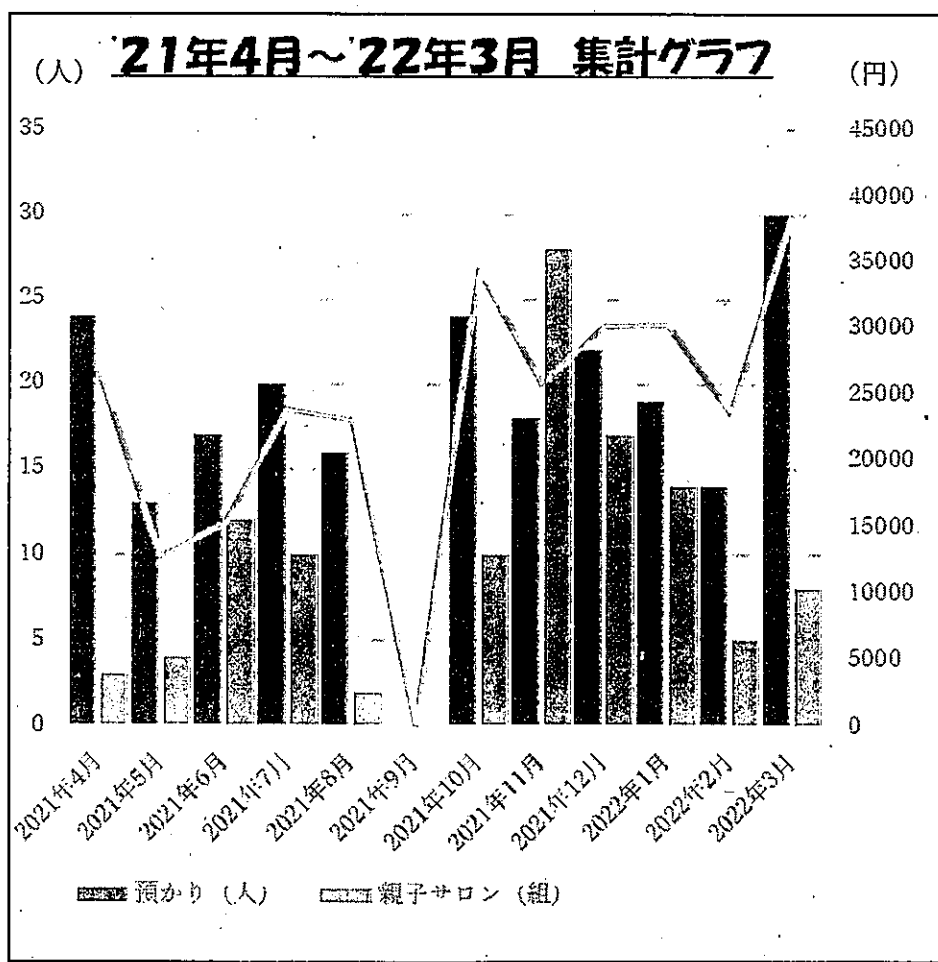
※支出内容が確認できるよう別の用紙に領収書を貼付し、併せて提出してください。

※「当初計画額」には助成申請書の事業予算書に記入していただいた額と同額で記入してください。

事業概要

※実際に行った事業の内容を具体的に記入して下さい。
事業実施にかかる準備(会議等)についても記入してください。

| 実施時期 | 内 容 | | | |
|--------------------------------------|----------|---------|-----------|--------|
| | 年 月 | 預かり (人) | 親子サロン (組) | 金額 (円) |
| 1. 実績推移 ●預かり人数 ●親子サロン ●収入金額 | 2021年4月 | 24 | 3 | 26,500 |
| | 2021年5月 | 13 | 4 | 12,750 |
| | 2021年6月 | 17 | 12 | 15,125 |
| | 2021年7月 | 20 | 10 | 23,750 |
| | 2021年8月 | 16 | 2 | 23000 |
| | 2021年9月 | 0 | 0 | 0 |
| | 2021年10月 | 24 | 10 | 34,375 |
| | 2021年11月 | 18 | 28 | 25,750 |
| | 2021年12月 | 22 | 17 | 30,125 |
| | 2022年1月 | 19 | 14 | 30,250 |
| | 2022年2月 | 14 | 5 | 23,500 |
| | 2022年3月 | 30 | 8 | 38,375 |



| | |
|------------------|--|
| 2. 定例会議 令和3年／ | (会議内容は下記の通りです) |
| 4月10日 | 前年度収支決算報告。電話予約対応は全体把握が必要なことから、今後は代表(松江)が一括管理する。書類関係・清掃用具の整理整頓を行った。 |
| 4月24日 | 会員3名が退会したことによる臨時会議を開催し対応策を検討した。 |
| 5月8日 | ①当番は予約状況により柔軟に対応②サポート要員確保に向け積極的に声掛け。③事務処理の効率化、簡素化を図る。 |
| 5月8日 | 5月29日「つながる交流会」に向け準備作業の段取り。その後、12日、15日、22日に模造紙制作等の準備作業を行った。 |
| 6月12日 | 「つながる交流会」の報告及び反省。→予想以上に盛況で、参加者の方が早速見学に来られた。リスク管理の徹底。→子どもの口に入る様な小物は、絶対に放置しないこと。その他情報の共有化を図った。 |
| 7月10日 | 来年度「元気創造まちづくり事業」への取り組み方針と、説明会参加者の決定。会則、及び各役員の役割分担の見直しを検討した。 |
| 8月7日 | 来年度事業計画、及び予算案の検討と決定。将来的な財源をどうするか? →「未来へつなく市民活動応援事業」、「未来ファンドおうみ助成事業」の検討。会則の改訂を決定した。領収書、防護柵、コップ等に関する改善。 |
| 9月11日 | 緊急事態宣言に伴い休業 → 解除され次第ぼっけを再開する方針。事業計画具体策の検討 → 特に将来に向け財源と人材の確保について。 |
| 10月2日 | プレゼンの予行演習と意見交換。チラシの改訂を検討した。秋の「つながる交流会」の概要説明と準備事項を確認し合った。 |
| 11月6日 | 「つながる交流会」の打合せとイベント準備作業。今後2~3回/月、ママサークル(浦部さん)によるベビーマッサージ教室を2階で開催予定。 |
| 12月11日 | クリスマス会の内容検討。掲示板・予約表の作成と各種資料の再検討。コロナ感染対策の見直し → 三密回避の為、親子サロンの時間制限等を検討。 |
| 令和4年／ | |
| 1月8日 | 新規会員(安福さん)の紹介。「くまのみひろば」の村田様も会議に参加し「空いている2階を活用し4月より毎週火曜プレ保育を開設する」旨説明して頂く。ボランティアセンターを通じてベビーソファや使用しなくなった玩具を寄贈頂く。親子サロンは原則1時間、最大2時間とする。 |
| 2月12日 | ①【合同会議】 建屋を共同利用する子育て支援4団体(ECCジュニア、くまのみひろば、Fun Fan Harmony、ぼっけ)が集まり、部屋・共有スペースの運用管理について討議しルール化した。(tette様は欠席) |
| 3月12日 | ②【ぼっけ定例会議】 今年度収支の概算(予定)報告。成果報告会に向けての準備段取り。その後、16日、19日、23日に模造紙制作等の準備作業を行った。 |
| 3月12日 | 成果報告会の内容を報告し共有化。「未来へつなく市民活動応援事業」に挑戦することで合意。→「ふるさと納税に関する勉強会を開催して欲しい」との意見が有り、4月例会を利用して勉強会を開催する。→講師は「子育てサロンCoco愛」の柴田様に依頼する。 |
| 3月12日 | |
| 3月12日 | |
| 3月12日 | |
| 3月12日 | |
| 3. イベント他 | |
| 5月29日 | 栗東の子育て支援5団体が栗東芸術文化会館さきらに集合し「つながる交流会」を開催。ぼっけとして参加したが予想以上に盛況であった。 |
| 6月11日 | ママサークルとのコラボ企画「ピアス作り」を開催。ママが2階で活動中、子どもさんをお預かりした。利用者様2名がママサークルにも加入した。 |
| 6月23日 | 活動日イベント「お絵描きに挑戦」を実施。男児2人はカタツムリに挑戦。 |

| | |
|--------|---|
| 7月 6日 | 京都新聞の取材に対応。→6月28日朝刊に掲載された。 |
| 7月 7日 | 読売新聞の取材に対応。→7月27日朝刊に掲載された。 |
| 7月 7日 | 7月生まれの男児を対象に「お誕生会」を開催した。ママとの記念写真を撮影し手作りのメダルをプレゼント。又、他の子どもたちと一緒に七夕飾り用の折り紙を折って楽しんだ。 |
| 7月15日 | 大宝東児童館（平子）様と今後の交流、連携について打合せを行った。 →保護者の方から児童館に一時預かりの要望があった時には、ぼっけを紹介いただく。又、平子様にぼっけのチラシを50部お渡しした。 |
| 7月16日 | 7月生まれの女児を対象に「お誕生会」を開催した。ママとの記念写真を撮影し手作りのメダルをプレゼントし喜んでいただいた。 |
| 9月17日 | ママサークルとの打合せ → ぼっけサポーターを依頼し快諾を得た。 |
| 9月27日 | ママサークルより中古のベビーベッドや玩具を寄贈いただいた。 |
| 10月25日 | ママサークルのハロウィン企画「ジャック・オー・ランタン作り」に利用者様親子が参加し非常に喜んでいただいた。 |
| 11月13日 | 今年第2回目の「つながる交流会」を開催した。今回は場所をコミュニティセンター治田東に移し、又5団体に加え児童館・地域子育て支援センターにも加わって頂いた為、大盛況であった。 |
| 11月29日 | 『ぼっけを開放し市民の集い場にする』ことを目的に、ママサークルとコラボして今後1～2回/月「このゆびとまれ」を開催することにした。編み物教室、野菜の即売会、フリーマーケット等、色々な案が出された。 |
| 12月 7日 | 「未来ファンドおうみ」事業説明会に参加。→内容は「元気創造～」と良く似た内容。令和4年度は重複する為、5年度以降の予備として保留。 |
| 12月13日 | 「ベビーマッサージ体験教室」を2階で開催。ぼっけの利用者様も参加し好評を得た。今後はtette（浦部さん）単独開催の予定。 |
| 12月14日 | ママサークル代表、くまのみひろば代表、ぼっけ代表で「栗東の子育て支援」に関する打合せ → ぼっけ建屋の有効活用を図る為、くまのみによる「プレ保育教室」開設を検討することになった。 |
| 12月20日 | 「このゆびとまれ」を開催。→主にクリスマス会の準備、ママまちフォト代表（長岡さん）とも交流できた。 |
| 12月22日 | 書類関係の整理やカーテンの取り換えも含めて部屋の大掃除を行った。 |
| 12月24日 | クリスマス会を開催。紙芝居や、手品、歌、手遊び等で楽しんだ。又サンタクロースに扮し子どもたちにプレゼントを贈った。 |
| 12月27日 | ママサークルとコラボしてコミセン大宝東で、年末子どもイベントを開催。スタッフも参加し手品、輪投げ、スローイングビンゴを楽しんだ。 |
| 令和4年/ | |
| 1月 7日 | 子育て支援員研修の実習生（子育て支援センターの白鳥さん）受入れ。 →1日限定で、見学、及び今後の課題と展望について討議した。 |
| 1月27日 | 子育てサロンCoco愛を訪問しスタッフや岡田先生との交流。又ママサークル、ぼっけ利用者様も同行したので、ご紹介させていただいた。 |
| 2月 9日 | 昨年の「つながる交流会」が頓挫した為、行政の有志にご協力いただき「栗東市の子育て支援を考える会」を発足させ、第1回会議（ZOOM）を開催。当初、社会福祉課、健康増進課、地域子育て支援センター、及びママサークルFun Fan Harmony、くまのみひろば、ぼっけでスタートさせたが、今後は昨年メンバーにも声を掛け、栗東市と民間支援団体とが協働して、子育て支援に必要なサポート体制を構築していきたい。 |
| 2月21日 | 自治振興課様よりご紹介いただいた山尾助産師様宅に、Fun Fan（谷口）、くまのみ（村田）と一緒に訪問。今後、色々と交流を図りたい。 |

事業成果（事業の過程で出た問題や今後の課題含む）

〈 成 果 〉

1. 親子サロンや一時預かり保育を実施したことで、若い保護者の育児負担が軽減され、「自分の時間が持てるようになり、その余裕から育児に前向きに取り組めるようになった」「安心して用事を済ませることができた」との保護者からの声が届き、当初の目的を少しは達成できたようで「本当にやって良かった」と素直に喜んでいます。
2. 今期は親子サロンが大きく伸びました。これは親子サロンで親同士が繋がって、所謂ぼっけの中でママ友が出来、情報交換の輪が広がり、それが口コミで広がった為だと思います。
3. 昨年「つながる交流会」に参加したことで、子育て支援団体同士もつながりの輪が広がり、又、利用者様も各団体の特徴を掴み上手く活用されています。下記はその事例です。
 - C○C○愛・・・毎週木曜、親子サロン(親子で遊ぶ)活動でランチを提供。
 - ぼっけ・・・毎週水曜午前&金曜、一時預かりと親子サロン活動で、ランチは無い。
 (事例①) C○C○愛の利用者様が一時預かりを希望 → ぼっけを紹介して頂いた。
 (事例②) ぼっけの利用者様をC○C○愛様に紹介。(一緒に同行した)
 (事例③) その結果、利用者様は「木曜はC○C○愛でランチを食べ親子で遊ぶ」。「金曜はぼっけで子どもを預け用事を済ませる」 → 団体の特徴をうまく活用できた。
4. 一方、最初は大泣きしていた子どもが母親と離れて1人で遊べるようになったり、喋れなかった子どもが好きな電車を見て「デンシャ！」と言えるようになったり、本当に子どもの成長には驚かされます。我々シニアも子どもが懐いてくれて嬉しいし、その成長を保護者の方と一緒に喜び日々感動とやりがいを感じています。『保護者だけの子育て』から『地域が共に子育て』への一端を担っていると実感しています。
5. 本事業をスタートさせて以来、行政や関係各機関をはじめ色々な方々のご支援をいただき非常に感謝しております。特にママサークルや家主様の協力を得られたことは大きく、我々の地道な活動・努力が認められたものと自信に繋がりました。一方で、ぼっけの存在が我々の結束を強固にしたとも言え、これはコロナ禍における大きな成果であると考えます。

〈 課題や問題 〉


1. 私たちはもっと活動したいという思いも有りますが、現在のスタッフ数では活動時間の増加は難しく人員確保が課題です。色々と募集活動をした結果、今年1月ボランティアセンター様のご紹介で、私たちの娘の様な若い主婦の方が新たにスタッフとして仲間に加わりました。又ママサークルより2名がサポーターとして、毎月1回活動に加わっており、更なる増員を図りたいと考えております。
2. 子どもの成長は早く発達段階に合わせた保育環境づくりが必要です。しかし実際には同じ部屋で同じおもちゃで遊ぶだけでは退屈します。例えば屋外に出て自然に触れ季節を感じられる機会を作ったり、子どもが自分で遊びを選べるように工夫をしたいと思えます。
3. 最大の課題はコロナ対策です。如何に感染防止対策を徹底したとしても、幼児保育の現場では、どうしても感染リスクが存在します。しかし、今後のWITHコロナ時代に向け、「人と人との距離を保ちながら、逆に心と心の距離を近づけていきたい」と考えます。つまり、「子どもとのマンツーマン対応」は勿論ですが、あくまでも子ども目線に立ち、子ども達が「ぼっけが大好き。又遊びに行きたい!」と感じて貰える様な環境づくりを目指します。

〈 今後の展開 〉

1. 来期は3年目で集大成の年になります。この事業を末永く継続していく為の財源確保として、ふるさと納税を利用した「未来へつなぐ市民活動応援事業」にチャレンジしたいと考えております。引き続きご指導の程よろしくお願い致します。
2. 前述した如く、行政の有志と共に「栗東市の子育て支援を考える会」を発足させました。今後は栗東市と民間の子育て支援団体とが協働して、子育て支援に必要なサポート体制を一步一步構築していきたいと考えています。

令和 3 年 3 月 26 日

栗東市市民社会貢献活動促進基金補助金運営委員会
委員長 西川 実佐子 様

団体名 シニア子育てサロン ぽっけ
(栗東市糺2丁目7-17)
代表者氏名 松江 由多加 

栗東市市民社会貢献活動促進基金補助金
実績報告書

令和元年11月21日付けで採択通知があった標記の補助金について、その実績を関係書類を添えて報告します。

| | |
|-----------------------------|----------|
| 交付済金額 (A) 【1】 | 200,000円 |
| 実績額 (支出総額) (B) + (C) | 271,271円 |
| 助成対象経費総額 (C) | 268,271円 |
| 助成基本額 (C) × 3/4 【2】 | 201,203円 |
| 助成額 【1】と【2】のいずれか低いほうの金額 【3】 | 200,000円 |
| 返還額 【1】 - 【3】 | 0円 |

記

関係書類

- 1 収支決算書
- 2 事業概要
- 3 事業成果

(収入)

収 支 決 算 書

(単位：円)

| 科 目 | 当初計画額 | 実際実施済額 | 備 考 |
|--------------------|--------|---------------|------------------------------|
| 栗東市市民社会貢献活動促進基金補助金 | 200000 | (A) 200000 | 栗東市元気創造まちづくり事業補助金 |
| 団体自己資金 | | | |
| 会 費 | 120000 | 10000 | 1000円×10名 |
| 寄 付 金 | 0 | 1000 | 栗東市社会福祉ポイントを会員から寄付 |
| 部屋使用料 | 0 | 6500 | ECC様5100円 中村マ×様1000円 進藤様400円 |
| 保 育 料 | 225000 | 84875 | 別紙参照 (500円/1時間) |
| 合 計 | 437000 | 302375 | |

(支出)

| 科 目 | 当初計画額 | 実際実施済額 | | 備 考 |
|---------|---------|--------------|----------------|-----------------------------|
| | | 対象外経費 | 対象経費 | |
| 報償費 | 12000 | 0 | 5000 | 岡田さよ子先生 3月19日講習会お礼 |
| 旅費交通費 | 0 | 0 | 900 | アルファ駐車代 |
| 消耗品費 | 30000 | 0 | 65017 | 体温計・温度計・部屋装飾品など・別紙参照 |
| 印刷製本 | 40000 | 0 | 16090 | チラシ5500・10450円。拡大コピー70円×2 |
| 光熱費 | 49200 | 0 | 12000 | 1000円×12ヶ月 |
| 通信運搬費 | 24000 | 0 | 21144 | 携帯代 |
| 保険料 | 10000 | 0 | 25200 | ボランティア行事保険560円/1日(560円×45日) |
| 使用料(賃借) | 132000 | 0 | 121200 | 10000×12ヶ月 コミセン400円×3回 |
| 材料費 | 9800 | 0 | 1500 | 吊り籠 |
| 手数料 | 0 | 0 | 220 | 滋賀銀行振り込み |
| 諸会費 | 0 | 3000 | 0 | 大宝学区地域振興協議会協 |
| 合 計 | 307.000 | (B) 3.000 | (C) 268.271 | |

※支出内容が確認できるよう別の用紙に領収書を貼付し、併せて提出してください。

※「当初計画額」には助成申請書の事業予算書に記入していただいた額と同額で記入してください。

事業概要

※実際に行った事業の内容を具体的に記入して下さい。
事業実施にかかる準備(会議等)についても記入してください。

| 実施時期 | 内 容 | | |
|---------|----------|----------|--------|
| | 預かり(人) | 親子サロン(組) | 金額(円) |
| 1. 実績推移 | | | |
| ● 預かり人数 | 2020年3月 | 0 | 0 |
| ● 親子サロン | 2020年4月 | 0 | 0 |
| ● 収入額 | 2020年5月 | 0 | 0 |
| | 2020年6月 | 4 | 3,000 |
| | 2020年7月 | 7 | 5,750 |
| | 2020年8月 | 5 | 5,375 |
| | 2020年9月 | 7 | 8,500 |
| | 2020年10月 | 15 | 13,625 |
| | 2020年11月 | 21 | 20,875 |
| | 2020年12月 | 21 | 26,750 |
| | 2021年1月 | 0 | 0 |
| | 2021年2月 | 0 | 0 |
| | 2021年3月 | 0 | 0 |

活動推移【'20年4月～'21年3月】

| | |
|----------|---|
| 2. 定例会議 | (会議内容は下記の通りです。) |
| 4月10日 | 休業中。会計報告と今年度予算の説明。部屋を有効活用すべく検討。 |
| 5月30日 | 6月5日再開に向け打合せ→当面は金曜午後のみで3人体制。消毒の徹底。 |
| 6月27日 | 前日の報告。7月より金曜午前と午後対応。コロナ感染防止対策の周知徹底。 |
| 7月11日 | 親子サロンの内容吟味。「コミセンだより」への掲載検討。古川さん新加入。今後の方向性に関する討議→家賃負担が重く今後はコミセン治田を検討。 |
| 8月 8日 | 来年度事業計画に関する討議。「来年度より家主さんのご厚意で家賃が安価で借用できる」との報告。Facebookへの投稿を開始する旨報告。 |
| 9月12日 | 来年度事業計画に関する詳細説明と今後の課題について。金曜以外で活動可能な日を検討。退会者のキー返却。ベビーサイン体験講習会の段取り。 |
| 10月10日 | 11月より金曜に加え水曜午前も活動することで決定。但し金曜午後は2名対応。当番の確認と編成替え。会計台帳の確認。子どものアレルギー確認の徹底。 |
| 11月14日 | 武田さんが新加入。ぽっけママ友の繋がり。くまのみ応援の件。誕生会の件。 |
| 12月12日 | 今年度は12月18日まで。クリスマス会は中止しクリスマスカードをお渡しする。コロナ感染拡大により年末年始は休業。再開は1月16日の状況を見て判断。 |
| 1月16日 | コロナ感染者数が減らず見通しが立たないので2月12日まで休業を延長する。 |
| 2月12日 | 事業報告書の内容(成果、課題や問題、今後の展開)を検討。再開については見通しが立たず。とりあえず3月12日まで休業を延長する。 |
| 3. イベント他 | |
| 6月30日 | 子育てサークル『にっこりクラブ』訪問。(3名で七夕イベントを見学)。 NPO『プロボノ滋賀』打合せ。(3名で Facebook等SNSをご指導頂く)。 |
| 7月 3日 | 活動日イベント『七夕飾りづくり』を実施。親子(3組)共非常に喜んで頂いた。 |
| 8月21日 | 中村まめ先生と打合せ。(ベビーサイン講習会の予約、実施段取り打合せ) |
| 9月24日 | ベビーサイン体験講習会を開催。(参加者:親子4組、講師:中村まめ先生) ママ達より「親子の絆が深まった感じがした」と好評を得ました。 |
| 10月 9日 | タッチケア体験会を開催(参加者:スタッフ4名) |
| 11月 6日 | スタッフ1名を『くまのみひろば』に保育補助(2h)として派遣。 |
| 11月20日 | タッチケア体験会を開催。(参加者:ママ2名)→「心身共に楽になった」 |
| 12月16日 | クリスマスカード(8名分)を作成→6名には18日に手渡し。2名は郵送。 |
| 2月度 | 2名を『くまのみひろば』に保育補助(2h)として派遣。(8日、17日) |
| 3月19日 | スタッフ研修会を開催。(参加者:スタッフ9名、講師:岡田さよ子先生) 「地域の子育て支援」に関する講話と質疑応答。個人的な人生相談にまでの確にアドバイス頂き非常に有益であった。 |

事業成果（事業の過程で出た問題や今後の課題含む）

〈 成 果 〉

1. 親子サロンや一時預かり保育を実施したことで、若い保護者の育児負担が軽減され「特に自分の時間が持てるようになり、その余裕から育児に前向きに取り組めるようになった」との声が届き、当初の目的を少しは達成できたように思います。又、母親同士がお迎え時に一緒に親しくなりました。そこでママサークルを紹介し母親同士の繋がりの輪が広がりました。最近では父親も一緒にお迎えや見学に来られています。

【若い保護者の声】

- ・他の保育施設と比べ、ぽっけさんはマンツーマン(保育者1人が子ども1人を)で対応して頂けるので、安心して預けられました。
 - ・栗東に住んで1年余りなので、まだ話し相手が少ない。ぽっけさんに来ると世代が違う方(自分の親世代)と色々話しが出来るので楽しみです。
 - ・最近ではイライラしても、ぽっけさんでみて貰えると思うと感情的に叱ることを我慢できるようになりました。
2. 一方、最初泣き止まない子どもが母親が居なくても遊べるようになったり、喋れなかった子どもがボール遊びで「赤」「青」と言えるようになったり、本当に子どもの成長は早い。我々シニアも子どもが懐いてくれて嬉しいし、その成長を保護者と一緒に喜ぶなど、日々感動と生きがいを感じています。『保護者だけの子育て』から『地域が共に子育て』への一端を担っていると実感しています。
 3. 本事業をスタートさせて以来、行政や関係各機関をはじめ色々な方々のご支援をいただき非常に感謝しております。特にママサークルや家主様の協力を得られたことは大きく、我々の地道な活動・努力が認められたものと自信に繋がりました。一方で、ぽっけの存在が我々の結束を強固にしたとも言え、これはコロナ禍における大きな成果であると考えます。

〈 課題や問題 〉

1. まず新型コロナ感染拡大に伴い活動意欲の喪失感が予想以上に大きかったことです。例えば感染防止対策を講じたとしても保育現場では感染リスクが存在します。昨年12月18日より休業中で未だ再開の目途が立っていません。しかし保護者からの要望も有り、感染状況の正しい把握と感染防止対策を徹底させた上で、慎重に再開時期を決定したいと考えます。
2. 子どもの成長は早く発達段階に合わせた保育環境づくりが必要です。しかし実際には同じ部屋で同じおもちゃで遊ぶだけでは子どもも退屈します。例えば屋外に出て自然に触れ季節を感じられる機会を与えたり、子どもが自分で遊びを選べるように工夫したい。
3. 現在のスタッフで今以上の活動時間の増加は難しいと感じています。今後は100歳大学の卒業生は勿論、一般市民の方への募集を行い人員確保が必要です。

〈 今後の展開 〉

1. あくまでも新型コロナ感染の終息、及び人員確保が前提となるが、最終的には週3日活動を目指したいと考えます。只、現段階では非常に厳しい状況が予想される為、助成終了後は、他財団(淡海文化振興財団:未来ファンド淡海)の助成や、寄附金(ふるさと納税制度を活用)を使った資金調達を検討したいと考えています。
2. 3月に外部講師(岡田さよ子先生)を招いて『スタッフ研修会』を開催し非常に有益であった。次回は子育てに悩む保護者を対象に『子育て悩み相談会』を企画したい。
3. 昨年実施して好評だったベビーサイン講習会(母親と子どもが対象)や、タッチケア講習会(母親が対象)を今年も実施したいと考えています。
4. 長寿福祉課が主催した『子育てつなげる協議会』で繋がった他の団体様とのご縁を大切に地域の子育て支援団体としてお互い協力し合いたいと考えます。(くまのみひろば様への保育補助支援、CoCo愛様との利用者交流など)。

毎週 水・金曜は 子育てサロン

ぽっけ

気軽に
親子で見学OK

ママの
リフレッシュに!

楽しくおしゃべり
しましょう

親子サロン

親子で遊びにきて
スタッフとおしゃべりしたり、
ママ同士で交流したり、
ほっとする時間をお過ごし
ください。

時間

- 毎週水曜日 午前9時～正午まで
- 毎週金曜日 午前9時～午後4時まで

ママサークルと
コラボイベントもあります!

イベント時の「託児」は、ぽっけが対応いたします。

息子は自分の家のように遊び、
私はいろんな人とおしゃべりを楽しんで
毎回元気になって帰ります^^

一時預かり

1時間
500円

ちょっと困ったとき、
お子さまをお預かりします。
じいじ、ばあばがママを応援サポート!
※要事前予約(空きがあれば当日でも可)

- 時間
- 毎週水曜日 午前9時～正午まで
 - 毎週金曜日 午前9時～午後4時まで

- 対象 原則 生後6ヶ月～3歳
活動 スタッフ 8名(交替)
定員 当面3名まで
(最大5名/3密を回避)

スタッフは全員
「滋賀県子育て支援員研修」を受講済!
安心してお任せください!

「ぽっけ」の仲間募集中!

子どもが大好きなシニアの方、スタッフとして
一緒に楽しく充実した時間を過ごしませんか?
見学も大歓迎です! まずはお電話ください。

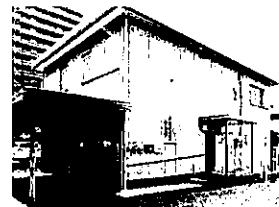
元気創造 子育てサロン ぽっけ

栗東市糺2-7-17 栗東駅東口ロータリーから北へ100m先左側

フェイスブックやホームページもぜひご覧ください!

ご予約
お問合せ ☎080-5322-7755

ぜひ一度
お越しください



Facebook



ホームページ